

31H 馬場 裕作 32H 玉泉 梨乃 33H 此下 雅凜
 34H 木幡 美沙 34H 安達 直徹 36H 新田 福人

■課題

能登の人口流出の抑制

■解決策

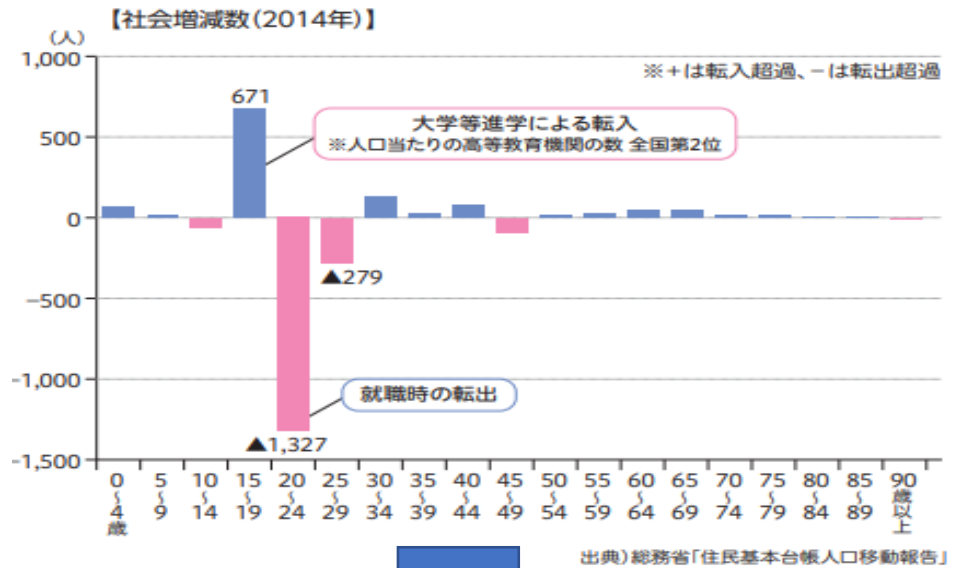
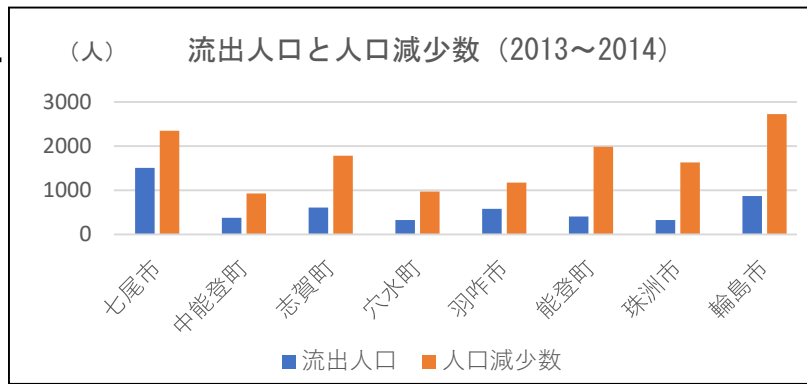
テレワークを導入し、企業における都会との格差をなくすことで就活の際に発生する若者の流出を抑制する

■現状（課題の背景）

能登の人口が年々減少している

●流出原因

- ・大企業が無いから・望む職が無いから
- ・大学や専門学校が無いから・娯楽施設が少ないから

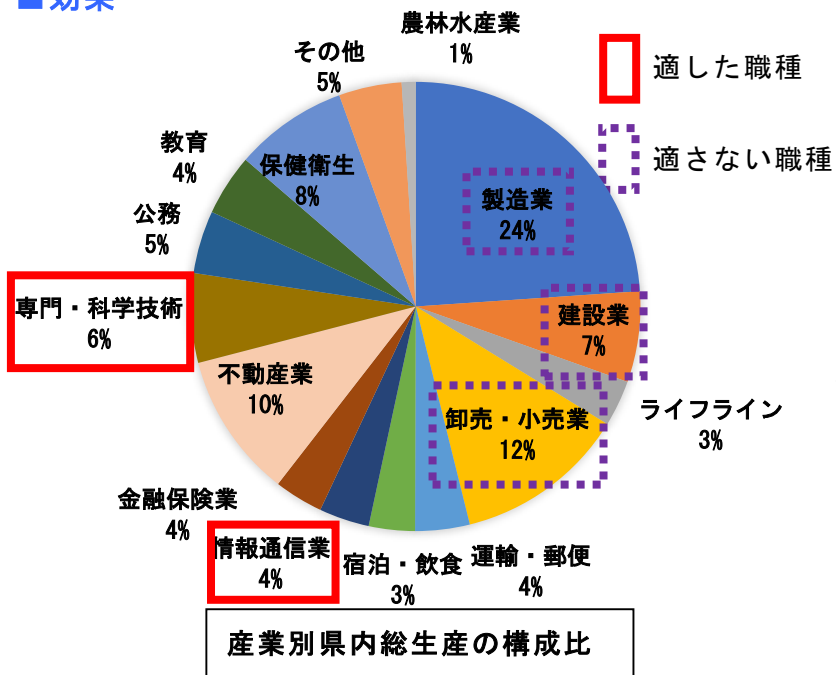


就職する年齢層の人口が流出

■具体的内容

- 市町でテレワークの導入の推奨を進める
- 能登全体で企業と連携し、テレワークを推進、能登でもいろんな職種につけるよう設備を整える

■効果



- テレワーク費用
 1. 情報通信機器
 2. Web 会議や退勤管理などのビジネスツール
 3. 消耗品や備品
 4. ネットワーク回線
 5. 水道費や電気代
- 会社負担が多い
- 手当として一部支給することが多い

○導入には会社や個人の負担が大きい
 →市町が負担することでテレワーク導入を考えていた企業にアプローチでき、能登を市場として利用できるように

○地方創生関係交付金は年々上昇している
 +政府は 2021 年度から、テレワークで東京の仕事を続けつつ地方に移住した人に最大 100 万円を交付する。地方で IT (情報技術) 関連の事業を立ち上げた場合は最大 300 万円とする

- 石川県に少ない業種の企業で働くことができる
- 能登の職種を拡大でき、人口の流出を防げる

テレワークによる能登活性化の最大のチャンスである

■参考文献

石川県県民文化スポーツ部, 石川県県民経済計算概要, ipa_h29gaiyous.pdf (pref.ishikawa.jp), 2019
 石川県県企画振興部, いしかわ創生, https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kikaku/keikaku/documents/chukou_pamph.pdf, 2015
 石川県, 住民基本台帳人口, https://www.pref.ishikawa.lg.jp/sichousien/tihou_jukijinkou.html, 2014